



速報新聞

キマグレ

発行所
彦根東高等学校

新聞部

彦根市金龜町4番7号

とたばたフライトの後 宮古島へ無事到着

B団(2組、4組、6組、8組)は那覇から飛行機を乗り換え、宮古島へ向かった。宮古島では入村式が行われた。

朝6時50分。あいにくの雨。関西空港に到着し、手続きを済ませた。B団の生徒を乗せた4台のバスは彦根を出発した。

その後もトラブルは続き、2クラスの乗った便が1時間の遅れをもつて宮古島に到着した。



B団 1日目

荷物検査を受ける生徒たち



最後のチェックを受けたので生徒たちは置いていかれないかと冷や冷やした。金属探知機にひっかかる生徒もいたが、全員無事にクリア。結局、関西空港離陸は定刻よりも30分以上遅れてしまった。飛行機が滑走路に入ると生徒は窓の外を食い入るように見つめ、機体が地上を離れると歓声が上がった。出発時は雨模様だった空も、しばらくすると気持ちよく晴れ上がった。

宮古島ってどんな所?

宮古島は沖縄本島の南西に位置し、周囲の島々を含めた宮古島市には約52000人が住む。日本国内と言っても距離的には沖縄本島よりも台湾の方が近い。

ソーキ汁でおもてなし

今日の晩ご飯はソーキ汁、パパイアチャンプル、油味噌、にがなのツナ和えだ。本日のメインはソーキ汁。具にはソーキ(豚足)、冬瓜、昆布、人参が入っている。ソーキはお祝い事に使われるもので沖縄で人気な食材だ。アル

パレードさんのお宅ではめつたに作らないもので、私たちを歓迎するために作ってくださったそうだ。パパイアチャンプルはパパイアとポークを混ぜて炒めたもの。今日はゴーヤは登場しなかった。(B団・空)



今日の晩御飯



宮古島観光中。浜辺でのひとコマ

島内には東平安名岬や与那覇前浜など見所がたくさんある。また池間大橋や来間大橋といった島々を結ぶ道路も充実している。宮古島の中央にある我々が使った宮古空港、そして全国的に航空ファンの間で有名な民間パイロット専用の訓練空港である下地島空港が同島にある。(B団・瀬)

みなさんは家族 入村式行われる

島内を観光した後、城辺環境改善センターで民泊の入村式が行われた。日没後だったためかなり薄暗いなかの式であった。

式では現地の方の「これから私たちを家族と思ってください。私たちも皆さんを「お客さん」ではなく「家族」として扱います」という挨拶があった。本校の代表生徒も挨拶をし、滋賀県と彦根を紹介した。

その後、生徒たちはこれからお世話になる「家族」の方とともに、各民泊先に散っていくた。(B団・轍)